

第4回デジタル教科書の 今後の在り方等に関する検討会議

令和2年9月23日(水)

公益社団法人

日本PTA全国協議会





1. 期待
2. 懸念点
3. 今後配慮して欲しい点



1. 期待



1. 期待

①デジタル教材との連携により、文字や写真からは想像できなかったことが動画や丁寧な解説によってより理解が深まると感じます。特に、算数（数学）の図形等の問題や、英語の発音などでの効果を感じます。

②学校と家庭のより深い連携や、長期休業中等において、リアルタイムで子どもたちの様子を把握しフォローできることに効果を感じます。



1. 期待

③遠隔教育との組合せ等により、中山間地の小規模校等において、特定の教科の先生が不在の場合、地域や学校を跨いだ学びの機会の確保ができることに効果を感じます。



2. 懸念点



2. 懸念点

- ①長時間コンピュータを利用することによる視覚・聴覚情報増加で、記憶力・意欲の低下につながる脳の疲労状態になったり、視力・聴力低下等の影響が出ないか気になります。
- ②タブレット等の維持管理について、セキュリティ対策は勿論、破損、紛失の際の対応（予備のタブレットは確保されるのか、弁償費用は誰が支払うのか等）が気になります。



2. 懸念点

③紙の教科書とデジタル教科書で子どもたちの理解度や成績に、どの程度差異（マイナス、現状維持、プラス）が生じるのか気になります。



3. 今後配慮して欲しい点



3. 今後配慮して欲しい点

- ①タブレット等の取り扱いについて、教職員、児童・生徒、保護者への十分な説明と事前研修を実施し、現場が混乱しないように、段階的に現場へ適用するといった配慮をお願いします。
- ②障害のある児童・生徒については、それぞれのニーズに応じた機能（文字やボタンの大きさ、自動読み上げ等）、外国人児童・生徒については、翻訳機能といった配慮をお願いします。



3. 今後配慮して欲しい点

③家庭学習における各ご家庭のネットワーク環境（ハード面、ソフト面）について、国や自治体の予算でご対応いただき、各ご家庭への負担を極力なくしていただくよう十分な配慮をお願いします。



公益社団法人 日本PTA全国協議会